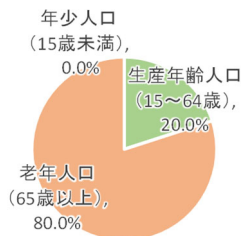


# 越 坂 (おっさか)

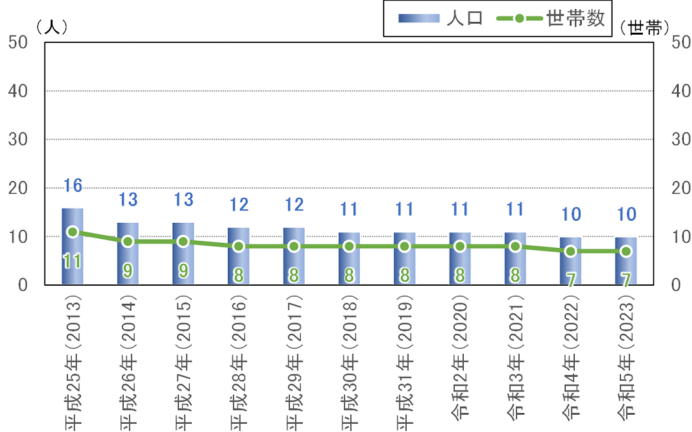
## 人口・世帯数等 (令和5年4月)

人 口	10 人
世 帯 数	7 世帯
高齢化率	80.0 %

### 年齢別人口割合



## 人口・世帯数の推移 (過去10年間)



## 区域の概要

**立 地** 集落は標高350~400mの高地に位置する。

**地名由来** 「越」の詠みとして平安中期に書かれた『類聚名義抄』に「オツ」とあり、古い地名と思われるが、不明である。

**歴 史 等** 越坂村西側の標高670mの山頂には奈良時代の創建とされる牛ヶ峰神社があり、かつては海上・越坂・内山の3か村と、因幡の洗井・銀山・鳥越の3か村で祀られていた。また、古くは六軒衆と言い、これは海上耕地の浮田の里全部、浮田の里続きから前村・石橋の境界までであったとの説がある。

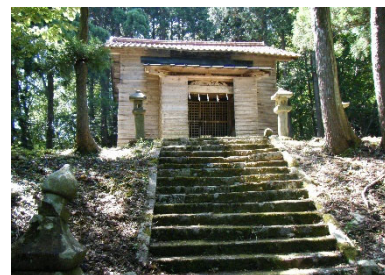
近世の越坂村は、天正11年(1853)因幡国鳥取城主宮部氏領、慶長6年(1601)同国若桜藩領、慶長10年(1605)旗本宮城氏知行、寛永20年(1643)幕府領、寛文8年(1668)豊岡藩領、享保11年(1726)からは幕府領となった。天保5年(1834)の『但馬国郷帳』(天保郷帳)の村高は84石余。特産物は但馬牛。明治期から養蚕業が盛んに行われ、蚕種保存の風穴跡がある。

明治22年(1889)八田村の大字となり、昭和29年(1954)からは温泉町の大字となる。明治24年(1891)の戸数34、人口は男82・女81。

## これまで把握している文化財

文化財の件数 16 件 (うち指定等文化財 0 件)

大分類	中分類	小分類	把握件数		指定等	
有形文化財	建造物	建築物	0	1	0	
		石造物	0		0	
		工作物・その他の構造物	1		0	
	美術工芸品	彫刻	4	5	6	0
		絵画	0			0
		工芸品	1			0
		書跡・典籍	0			0
無形文化財		古文書・歴史資料・考古資料	0	1	0	
		音楽	1		0	
		演劇	0		0	
		工芸技術	0		0	
		その他の無形文化財	0		0	
民俗文化財	有形の民俗文化財	信仰の場	2	2	0	
		祭具	0		0	
		民具	0		0	
	無形の民俗文化財	その他の有形の民俗文化財	0	4	0	
		年中行事・民俗芸能	0		0	
		民俗技術	0		0	
記念物	遺跡	食文化	0	3	0	
		民間説話・俗信	2		0	
		その他の無形の民俗文化財	0		0	
		散布地・集落跡・生産遺跡	1		0	
		古墳・その他の墓	0		0	
		城館跡・寺社跡	1		0	
	名勝地	街道・古道等	1	0	0	
		戦争遺跡	0		0	
		その他の遺跡	0		0	
		山岳・高原・丘陵	0		0	
動物・植物・地質鉱物	海岸・海浜・島嶼	0	5	0		
	河川・滝・渓谷・湖沼	0		0		
	公園・庭園	0		0		
	その他の名勝地	0		0		
動物・植物・地質鉱物	動物	0	2	0		
	植物	1		0		
動物・植物・地質鉱物	地質鉱物	1	0	0		
文化的景観	生活・生業・風土により形成された景観地		0	0		
伝統的建造物群	宿場町・城下町・農漁村等		0	0		



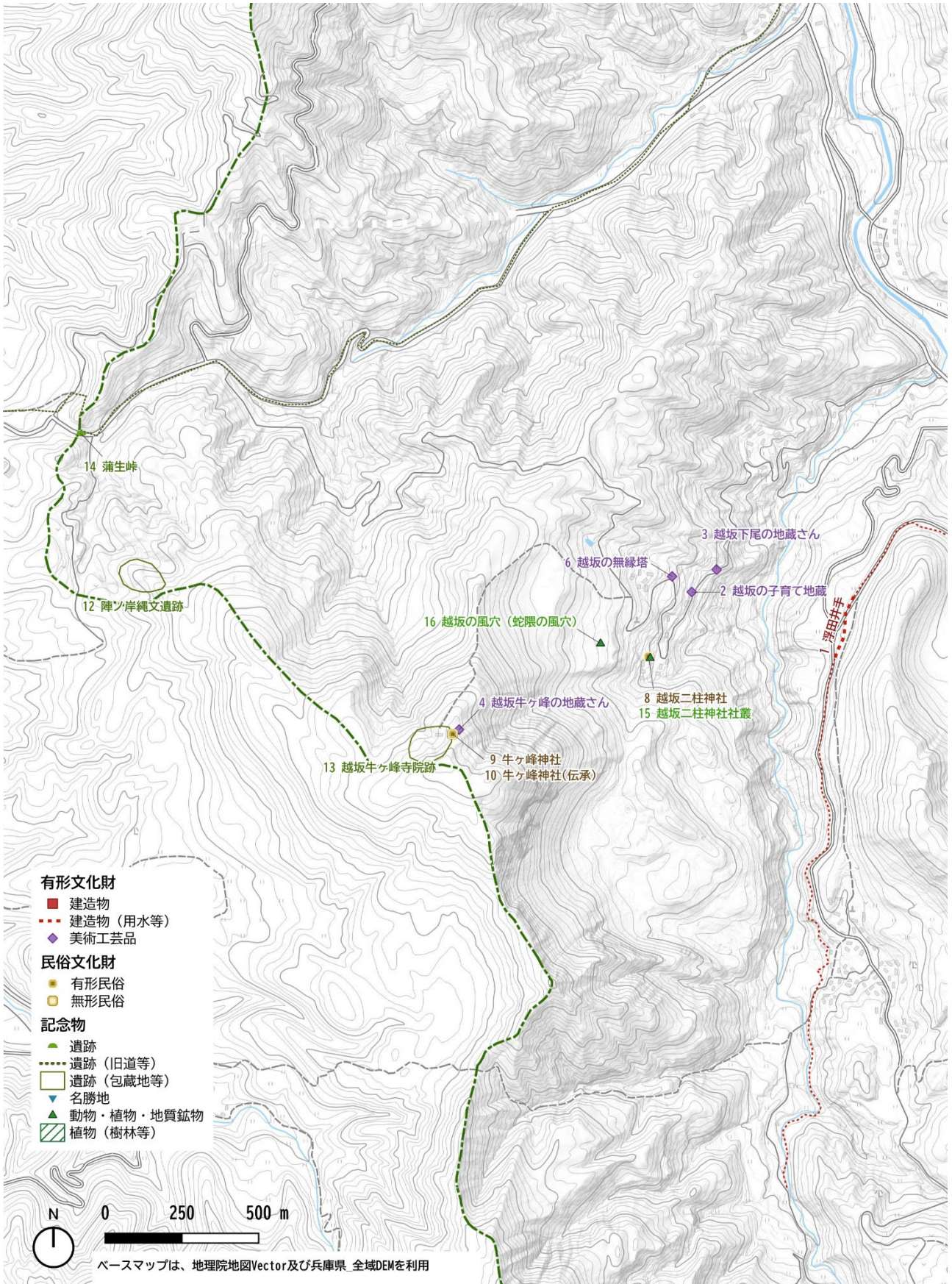
牛ヶ峰神社



牛ヶ峰山(岩美方面から)

※人口・世帯数は住民基本台帳(令和5年4月現在)による。

文化財の分布



※所在地の掲載可能なものに限る

## 6-07 越坂

### 文化財の一覧

#### ■ 有形文化財／建造物

分類	番号	名称	概要
工作物・ その他の 建造物	1	浮田井手	海拔270mの中腹段丘にある石橋の水田を灌漑するための岸田川支流小又川からの井手。山ひだに従って屈折しながら伸びる。水路延長は3.6km。浮田井手がかりの園田・杉山の田んぼの開発は、古文書により、1700年代の元禄年間であったことが知られている。

#### ■ 有形文化財／美術工芸品

分類	番号	名称	概要
彫刻	2	越坂の子育て地蔵	40×40cmの石像。子どもを抱く。
	3	越坂下尾の地蔵さん	52×40cmの石像。村の入口に立つ。移転の際にコンクリートで囲ったと思われる。台座には文字が刻まれているが判読が困難。
	4	越坂牛ヶ峰の地蔵さん	35×45cmの石像。牛ヶ峰神社に立つ。
	5	阿弥陀如来像	概要不明
工芸品	6	越坂の無縁塔	越坂上手にある。「無縁塔」と刻まれ、「縁」は「縁」の間違いと思われる。

#### ■ 無形文化財

分類	番号	名称	概要
音楽	7	牛ヶ峰音頭	※『温泉町郷土読本』（昭和42年、温泉町教育研修所調査部）p194参照

#### ■ 民俗文化財／有形の民俗文化財

分類	番号	名称	概要
信仰の場	8	越坂二柱神社	祭神は伊弉諾命、伊弉冉命、手力雄命。天応元年（781）9月、出雲国足日山より分霊を勧請し、牛ヶ峰神社の境内に奉斎したと伝わる。嘉祥元年（1106）に宮ノ上に遷座した。古くは若一王子と称した。明治6年（1873）10月に村社に列し、大正9年（1920）に無格社上手神社を合祀した。
	9	牛ヶ峰神社	持統天皇の朱鳥3年（689）の創立といわれる（『美方郡誌』）が、一説には、承宝3年（1076）に役行者行基がこの山頂に登り、奇瑞を感得して一字を建て、蔵王権現を安置したことにはじまるとする。ご神体は古い赤銅の弥勒菩薩・蔵王大権現。この蔵王権現は、城崎郡三河山、伯耆の三徳山のものと同体で、昔三権現と称えられていたという。近代社格は無格社。

#### ■ 民俗文化財／無形の民俗文化財

分類	番号	名称	概要
民間説話・ 俗信	10	牛ヶ峰神社	※『但馬・温泉町の民話と伝説』（昭和59年、喜尚晃子編纂、手鞠文庫発行）p36参照
	11	牛が峰	※『但馬・温泉町の民話と伝説』（昭和59年、喜尚晃子編纂、手鞠文庫発行）p285参照

#### ■ 記念物／遺跡

分類	番号	名称	概要
散布地・ 集落跡・ 生産遺跡等	12	陣ノ岸縄文遺跡	縄文時代の散布地。桑園造成工事の際、縄文時代早期の石器・土器が多数出土。

分類	番号	名称	概要
城館跡・ 寺社跡	13	越坂牛ヶ峰寺院跡	中世の寺院跡。山頂に礎石。やや下って籠り堂、五輪塔、墓碑、切石跡などがある。
街道・古道等	14	蒲生峠	山陰道の但馬国と因幡国の国境であり、現在の新温泉町と鳥取県岩美郡岩美町をつなぐ峠道。現在は国道9号に蒲生トンネルができていますが、旧国道はトンネル手前を左手に蒲生峠に登り、県境を越えて鳥取県の蕪島へ下りていた。峠部に切通があるが、おそらく旧国道建設の際に設けられたもので、それ以前は、その上部を通っていたと思われる。また、峠の少し向こうには、以前は大きなお地藏さんが祀られていたという。狼にまつわる話などのさまざまな民話がつたわる。

■ 記念物／動物・植物・地質鉱物

分類	番号	名称	概要
植物	15	越坂二柱神社社叢	二柱神社の境内には、エゾエノキは幹回り 3.2m、樹高 20mの巨木がある。樹幹はフユツタが覆っているが、樹勢は旺盛である。境内には幹周り 145cm+80cmの同一根二幹と 152cmのヤブツバキがある。
地質鉱物	16	越坂の風穴(蛇隈の風穴)	夏秋蚕の蚕種保護として利用された洞穴。その生成について、大蛇と「海上(うなかみ)」の民間説話が伝わる。